

地域の力を まちづくりに



新たな歩みへ 冬・彩・温もりスノーランタン

新名寄市総合計画を共に推進していくことになる新しい住民組織「地域連絡協議会」が、名寄地区にある7つの小学校区単位で発足される動きのある中、南地区地域づくり協議会ではスノーランタンの集いが第1弾の事業として位置づけられています。

平成6（1994）年2月、大学公園で初めて灯されたスノーランタンの15年の歩みについてお知らせします。

（左は、第1回から第15回までのスノーランタンの写真）

地域づくりの新しい 動きが生まれる

スノーランタンが初めて広報なよりに登場したのが、平成5（1993）年3月号でした。

4ページで組まれた、特集「白い黄金 利雪・親雪日本一のまちづくりへ」の中で、「冬の夜の庭を幻想的に演出するスノーランタン。雪のシールドがキャンドルの明かりを包み込み、温かみのある光が広がる」として、小さな写真が紹介されています。

今では冬の恒例行事となっているスノーランタンの集い。平成20（2008）年は、1月26日に大学公園、2月2日総合福祉センター・豊西小学校、2月9

平成21年スノーランタンの集い日程表

開催日	会場	点火時間
1月31日(土)	大学公園	16時20分 ～18時頃
2月7日(土)	総合福祉センター	16時45分 ～19時頃
2月7日(土)	豊西小学校	16時30分 ～17時30分頃
2月7日(土)	西小学校	17時00分 ～18時頃
2月14日(土)	東小学校	17時00分 ～18時頃

日には北の天文字焼きに合わせ東小学校で開催。最後に2月16日の西小学校と、5会場で行われました。

多くの市民の皆さんが楽しんできたスノーランタンの15年の歩みを紹介します。

背景にあったもの スノーランタン誕生

北海道が昭和63年度から推進することになった戦略プロジェクト「利雪・親雪プログラム」は、冬に親しみ、冬を楽しむことのできる快適な生活環境や暮らしづくりを進め、ふれあいを深めることで活力ある地域社会を形成することを目指していました。



スノーランタンの集い15回の歩み

回	開催日	会場	名称	参加者数	制作個数	摘要
第1回	平成6年2月21日	大学公園	スノーランタンを楽しむ集い	約120人	250個以上	まちづくり推進室
第2回	平成7年3月3日	大学公園	スノーランタン祭り	約100人	600個	実行委員会
第3回	平成8年2月3日	大学公園	スノーランタンフェスティバル	300人以上	約1,300個	西小学校
第4回	平成9年2月1日	大学公園	スノーランタンフェスティバル	600人以上	約1,300個	
第5回	平成10年2月14日	大学公園	スノーランタンフェスティバル	500人以上	約1,700個	
第6回	平成11年2月6日	大学公園	スノーランタンフェスティバル	400人以上	約2,500個	
第7回	平成12年2月5日	大学公園	スノーランタンフェスティバル	500人以上	約2,500個	
第8回	平成13年2月17日	3会場	スノーランタンフェスティバル 北の天文字焼きと同時開催		各2,000個	大学公園、東小、 豊西小
第9回	平成14年2月2日	3会場	スノーランタンフェスティバル 東小2/9、豊西小2/16	約400人	約2,200個	
第10回	平成15年2月1日 国体開催	4会場	スノーランタンの集い 東小2/22	約400人 福祉センター	各1,000個	大学公園、豊西小 総合福祉センター
第11回	平成16年2月7日	4会場	スノーランタンの集い 豊西小1/31東小2/14		約1,000個 福祉センター	大学公園、総合福 祉センター
第12回	平成17年2月5日	5会場	スノーランタンの集い 東小2/12 西小2/19		約1,000個 東小	大学公園、豊西小 総合福祉センター
第13回	平成18年2月4日	5会場	スノーランタンの集い 東小・西小2/11		約1,000個 福祉センター	大学公園、豊西小、 総合福祉センター
第14回	平成19年2月3日	5会場	スノーランタンの集い 東小2/10 西小2/17		約1,000個 福祉センター	大学公園、豊西小、 総合福祉センター
第15回	平成20年2月2日	5会場	スノーランタンの集い 大学公園1/26東小2/9西小2/16		約1,000個 福祉センター	豊西小、総合福祉 センター

スノーランタンの集い15回の歩みを上表のとおり一覽にまとめました。「名寄の冬を楽しく暮らす条例」を制定した名寄市では、同条例を具体的に実践するために、名寄市利雪親雪市民委員会、北国文化会議が中心になって実行委員会を組織してスノーランタンの集いを開催してき

平成6年2月21日の大
学公園から

平成元年4月に利雪・親雪プログラムを推進するための拠点として、モデル都市第1号の指名を受けた名寄市では、地域特性を生かした計画策定と事業展開を図りました。その取り組みは、平成4(1992)年3月に北海道が刊行した「きらきらいきいきなよる冬物語 利雪・親雪モデル都市名寄市より」で詳しく紹介されました。

スノーランタンは、日本雪氷学会北海道支部長で、北海道大学低温科学研究所の秋田谷英次教授が考案したもので、平成5(1993)年1月に名寄市で開かれた同支部の地方懇話会で紹介されたことがきっかけで、北国文化会議などがスノーランタンの普及に取り組むことになりました。



平成20(2008)年2月2日総合福祉センター会場

さらに、合併後に新たな「名寄の冬を楽しく暮らす条例」の制定により、活動推進主体が市民へと移行し、今後は一層地域住民の主體的な取り組みが期待されます。

平成13(2001)年の第8回には大学公園のほか、東小学校と豊西小学校を合わせた3会場で開催。節目となる平成15(2003)年の第10回は名寄サンピラ国体に合わせた開催で、総合福祉センターが会場に加わって4会場になり、平成17(2005)年の第12回からは西小学校が加わって、現在の5会場での開催になりました。